関係者各位

2026年10月1日発表
特定非営利活動法人マングローバル
代表理事　岡田精一郎

国際報告書「State of the World’s Mangroves 2026」に掲載

このたび、2026 年 9 月 30 日に公開された「State of the World’s Mangroves 2026」において、代表理事の岡田精一郎（Okada.S）が日本から唯一の貢献者として Acknowledgements（謝辞）に掲載されました。また、114 ページでは、当社が沖縄県・鹿児島県で収集したマングローブ分布調査データの活用や、日本初のマングローブ由来となる「Jブルークレジット®」認証に関する取り組みを紹介し、当社が撮影したメヒルギ（Kandelia obovata）とマヤプシキ（Sonneratia alba）の写真 2 点も掲載されています。
世界30か国以上から190名を超える専門家・科学者・実務者らが執筆した本レポートによって、日本国内におけるマングローブ保全活動や最新動向が国際的に紹介される機会となりました。

「State of the World’s Mangroves 2026」は、世界のマングローブの現状と保全・再生に関する最新の知見をまとめた国際レポートです。編集には世界自然保護基金（WWF）、ザ・ネイチャー・コンサーバンシー（The Nature Conservancy）、コンサベーション・インターナショナル（Conservation International）、国際自然保護連合（IUCN）、ウェットランズ・インターナショナル（Wetlands International）などが参画している Global Mangrove Alliance（GMA）が主導しております。



＜参考リンク：報告書ダウンロードサイト＞　＊The Nature Conservancy 管理サイト
https://tnc.app.box.com/s/higiwccmddmurqwzbbeopt8zckhzqc9c